

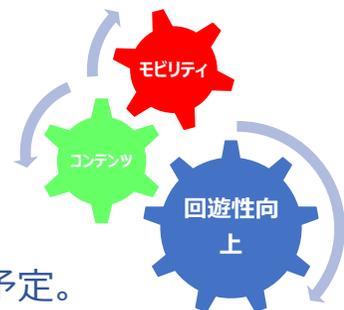
2021年度検討とりまとめ

2021年度のゴールに向けて2つのPTを中心に整理した。なお、3月にWGを開催し、年度の最終とりまとめを行う。
(域内交通の最適化に向けて)

■モビリティの整備だけでは回遊性は向上しない。

移動する目的である「コンテンツ」と「モビリティ」の整備を両輪として回遊性向上に取り組む必要がある。

なお、2022年度に予定されているMaaS実証実験において検討すべきコンテンツ案とモビリティ案を取りまとめる予定。



コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツとしてはイベント、ユースケース、電子チケット、割引サービスなどが考えられる。→イベント、電子チケット、割引サービスについてもユースケースの一部。 ※イベントは毎日開催できるものではなく、イベント開催日以外の回遊性向上についても重要な課題である。 日々の生活や来街者についてのユースケースを描く = 持続可能な移動環境を構築するため、日々のユースケースからふさわしいモビリティを考える。 ・来街者に来てほしい施設がユースケースの中にあって、その施設を回ってもらうためのイベント、電子チケット、スタンプラリーを実施していくというイメージになるか。そのイベントのイメージが①複数イベントの同時開催、②街全体を一つのテーマでジャックするといったもの。 ・イベント実施にあたっては、地域で協力し、幕張新都心地区内の回遊を促す仕掛けを取り込んだものとする。
モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・既存交通と補完しあい、地域の回遊性を高めるモビリティのイメージを共有。 ・住民の生活を豊かにする日々のユースケースを想定し、必要なモビリティの検討を実施。 ・オンデマンド交通の要素詳細については、「千葉市幕張MaaS実証」の状況も参考に今後検討を進める。 ・モビリティそのものではないが、駐車場の利活用（パーク&ライド）に関して事例検討。

まくはりの夏休み(仮称)

- ▶ターゲット：京葉線沿線、海浜幕張の住民(30~40代ファミリー層)
- ▶企画内容：各スポットで共通テーマのもとイベントを開催
→同時にお得な電子チケット、スタンプラリーや各スポット間をめぐるモビリティを提示していく
- ▶コンテンツ案

- 屋台(夏グルメ・海浜幕張グルメ)
- 夏のアクティビティ&リフレッシュ
- 緑日(子どもが楽しめるコンテンツ)
- イベント(盆踊り、ランタン…)

▶類似のイベントテーマ：ハロウィン、クリスマス

街全体を一つのテーマでジャックした例

既存モビリティと補完し合い、面的な移動環境を提供

幕張本郷駅、幕張駅、幕張豊砂駅、海浜幕張駅

(来街者) 幕張本郷駅→路線バス

(来街者) 幕張駅→路線バス(本数少ない)
→直通のシャトルバス
オンデマンド交通

(来街者) 海浜幕張駅からの移動
→路線バス

ふさわしいモビリティのイメージ

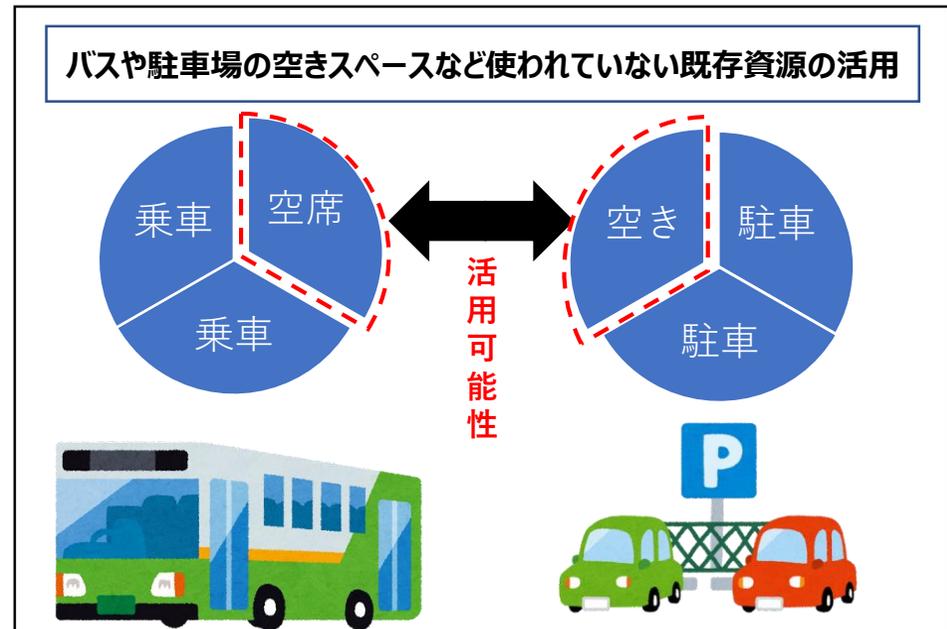
(来街者) マイカー → 駐車場の利活用 (パーク&ライド)

街中の移動(来街者・住民)
→シェアサイクル(の拡充)
循環バス
オンデマンド交通
電動キックボード

2021年度検討とりまとめ

(各団体の課題や資源、ニーズの把握)

- ヒアリングシートから、幕張新都心で活動する中で抱える「移動」に関する課題として、「施設間の移動困難」、「駐車場が不足」、「イベント時に混雑が発生」、「モビリティの利用方法がわからない」、「イベント以外に来訪目的がない」といった課題が多いことがわかった。これらの課題解決に有効と考える取組みとして、「デマンドバス」と「マイクロモビリティ」、「施設間で協力し合うバス」、「モビリティが一目でわかる案内・MaaSの導入」、「駐車場の利活用」の取組みが多いことが可視化された。
- ヒアリングの結果、「シェアサイクル」と「送迎バス」が各施設にとって評価の高い交通手段であることが分かった。
- 成果物となるモビリティ資源等の可視化資料をGoogleマイマップで作成する。
- 課題は以下の3つに分類された。
 - ① バスの空席や駐車場の空きなど使われていない既存資源の活用。
 - ② バスルート被りやシェアサイクルポートの配置など既存資源の効率化再考。
 - ③ 時間帯別利用者数等を把握したうえで共同運行を視野に入れた改善の検討。
- 買い物の際の荷物や施設周辺の渋滞解消のため、パーク&ライドについて今後検討することとなる。



今後（2022年度～）の検討事項

モビリティの利活用を進めるため、2021年度のP Tの取組みをベースに、2022年度も「回遊性の向上」及び「モビリティ資源の最適化・共有化」に向けた取組みをより加速化させていく。

（回遊性の向上に向けた取組み）

- 2022年度に予定されているMaaS実証実験について、実施に伴い回遊性の観点から分析を行う。

また、分析の結果、必要に応じてコンテンツ案やモビリティ案についてブラッシュアップした取組みの提案を行ったり、取組みの継続可否も検討したりする。

（モビリティ資源の最適化・共有化に向けた取組み）

- 2021年度にP Tでまとめたモビリティ資源の最適化・共有化の具体案（素案）を基に、実現に向けて対外的な調整を開始し、既存バスの改善実施やモビリティステーション用地の確保などに取り組む。